



# まくべこ

わたしたちのまち

(昭和59年3月1日現在)

人口 21,666 (-19)

男 10,705 (-17)

女 10,961 (-2)

世帯数 6,494 (+8)

—人のうごき(2月中)—

転入 60人 転出 87人

出生 23人 死亡 15人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



## フレッシュ♀ 職場の1年生

4月から拓銀幕別特別出張所へ就職した鯨岡ゆかりさん(写真左)、  
くしらおか  
高木静子さんです。ふたりは「責任ある仕事ですから明るく、早く職場  
の雰囲気に慣れたいと思います」と希望に胸をふくらませています。

59年

4

No.387

# 初めて100億円の大台

## 59年度 予算総額

# 札内東中の建設に八億一千万円

## 生活環境と産業基盤の整備を柱に

昭和五十九年度が四月一日からスタートしました。新しい町づくりの方向を定める定例第一回町議会が三月七日から開かれ、一般会計など五十九年度当初予算額が百三億五千六十万六千円になりました。

林町長の施政方針と黒川教育委員長の教育行政方針が明らかにされましたので要約して紹介します。

(次号から今年行う主な仕事を四回にわたってお知らせいたします。)

### 施政方針

私は町長に就任した際に、すべての町民でつくる町政を基本に、新総合振興計画を指針とし、生活環境の整備、産業の振興、社会福祉の推進、そして自然環境の保全を重点に行政を進めると申し上げました。今日の地方財政を取り巻く



施政方針を述べる林町長

厳しい財政環境の中、その理念を達成するためには、多くの困難と長い年月を要するものと考えておりますが、創意工夫を凝らしつつ、全力を傾注してまいり所存であります。

さて、昭和五十九年度の国の予算は、景気が低迷を続け、歳入の伸びに

### 財政運営は深刻

期待できない財政事情を反映して、費用負担の確保を図る政策がとられた結果、公共事業費の圧縮、医療保険制度の改革など、地方にとっても極めて厳しい内容となっております。

本町の財政状況であります。自主財源に乏しいことは多くの自治体と同様であり、地方債制限比率は一三・二％と年々増高を続け財政はひっ迫しつつあります。しかしながら理念達成のため後退は許されないものと考えております。従って予算の編成にあたっては事業費の確保を最大の主眼とし、経常

経費は極力圧縮しました。

一般会計六十九億二千万円、特別会計は九会計合わせて三十四億三千万円、当初予算としては初めて百億円を超える予算規模となりました。一般会計においては大型事業に対処して財政調整基金一億五千万円、教育施設建設基金一億一千万円の繰り入れを行うほか、地方債七億二千万円余りを見込んで

います。特別会計は区画整理事業会計が事業の進捗よくに伴い、七四％の増となりました。以下、主な施策について申し上げます。

**町道整備20・5km  
舗装率は19％に**

**道路整備** 新規事業として千住三線ほか四本、継続事業は幕別札内線ほか二十四本、総延長二〇・五キロの改良舗装を行い改良率は約四〇％、舗装率は約一九％に高める計画であります。

**公園** 明野ヶ丘公園、白人公園など大規模公園の整備を重点的に行います。

**住宅** 緑町と桂町にそれぞれ一棟六戸の公営住宅を建設し、公社事業として新緑町団地に分譲住宅十戸、桂町団地に道営住宅一棟六戸が予定されています。また、若草町に近隣センターの建設を計画しています。

**区画整理事業** 札内橋新橋の取り付け道路拡幅関連事業に着手いたしますが地権者の理解を得ながら進めてまいります計画であります。

**下水道事業** 幕別市街の鉄北地

区が五月から供用開始となりますが、水洗化工事の促進を図るため改造資金貸付金として五千万円、補助金として二百万円を計上いたします。



公園に生まれ変わる白人小学校跡地

ました。また、公営住宅を含む公施設の水洗化は四カ年計画（鉄南地区を含む）をもって実施すべく四千四百万円を計上しました。

**水道事業** 配水管の整備を行い普及率の向上を図ってまいりますが、経営環境は悪化の傾向にあり独立採算制の建前から料金の改定を審議会に諮問中であり、値上げせざるを得ない事情をご理解いただきたいと思います。

**交通安全・防災・防犯** 日新線歩道の整備、街路防犯灯の増設を計画的に行います。消防事務組合の事業として消防車の更新、防火水槽、消火栓の新設を進め、救急体制整備のため札内支署に消防士を

59年度一般会計予算

(単位：千円)

歳入	昭和59年度		昭和58年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
町税	1,129,519	16.3%	1,097,972	17.0%	31,547	2.9%
地方譲与税	145,000	2.1	145,000	2.2	0	0
橋梁施設利用税交付金	20,000	0.3	20,000	0.3	0	0
自動車取得税交付金	77,000	1.1	74,000	1.2	3,000	4.1
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	400		390		10	2.6
地方交付税	2,284,917	33.0	2,300,821	35.6	△15,904	△0.7
交通安全対策金	2,184		1,800		384	21.3
分租金および負担金	410,159	5.9	157,433	2.4	252,726	160.5
使用料および手数料	143,709	2.1	144,528	2.2	△819	△0.6
国庫支出金	796,441	11.5	436,059	6.8	360,382	82.6
道支出金	315,427	4.6	539,432	8.4	△224,005	△71.0
財産収入	58,462	0.8	69,466	1.1	△11,004	△18.8
寄付入金	3,100	0.1	4,850	0.1	△1,750	△56.5
雑収入	260,000	3.8	0		260,000	0
繰越金	200		200		0	0
諸収入	547,471	7.9	567,230	8.8	△19,759	△3.6
町債	726,200	10.5	752,100	11.6	△25,900	△3.6
基金繰入金	0		150,000	2.3	△150,000	
歳入合計	6,920,189	100.0	6,461,281	100.0	458,908	7.1

歳出	昭和59年度		昭和58年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸び率
議会費	82,784	1.2%	82,144	1.3%	640	0.8%
総務費	703,686	10.2	707,175	10.9	△3,489	△0.5
民生費	851,374	12.3	857,122	13.3	△5,748	△0.7
衛生費	297,562	4.3	353,738	5.5	△56,176	△18.9
労働費	17,706	0.2	17,430	0.3	276	1.6
農林業費	865,510	12.5	1,165,901	18.0	△300,391	△34.7
商工費	163,196	2.3	183,486	2.8	△20,290	△12.4
土木費	1,196,212	17.3	1,192,347	18.4	3,865	0.3
消防費	275,706	4.0	252,614	3.9	23,092	9.1
教育費	1,467,121	21.2	748,383	11.6	718,738	96.0
公債	994,332	14.4	895,941	13.9	98,391	11.0
子簡費	5,000	0.1	5,000	0.1	0	0
歳出合計	6,920,189	100.0	6,461,281	100.0	458,908	7.1

※歳入、歳出とも、昭和58年度は6月補正後の額

59年度特別会計予算

(単位：千円)

特別会計	昭和59年度	昭和58年度	増減	伸び率
国民健康保険特別会計	836,117	863,834	△27,717	△3.2%
老人保健特別会計	700,411	619,010	81,401	13.2
簡易水道特別会計	15,121	16,228	△1,107	△6.8
飲水道特別会計	8,057	6,619	1,438	21.7
営農用水道特別会計	2,330	2,856	△526	△18.4
公共下水道特別会計	870,015	917,490	△47,475	△5.2
土地区画整理特別会計	419,453	240,719	178,734	74.3
上水道事業会計	277,143	238,188	38,955	16.4
国民宿舎事業会計	302,700	304,959	△2,189	△0.7
特別会計合計	3,431,417	3,209,903	221,514	6.9

**市町村相互による  
機能分担の時代**

広域行政 今日地方行政は、個個市町村の枠を超えた広域処理の分野が多くなっており、すでに一部組合を組織して広域水道、下水道、ごみ処理、し尿処理、消防など住民生活に直接かわりのあるもの、十勝全体の発展を目指す十勝広域市町村圏など、その範囲は幅広いものがあります。

推進を図り、老人健康診査、各種の予防検診に多くの人が受診されるよう働きかけてまいります。



高齢者の技術と経験を生かす老人福祉

土地盤整備と  
特産品開発に重点

増員する予定であります。自然環境の保全 豊かな自然は町民共有の財産であり、土地利用計画の中で今後とも秩序ある開発と保全を進め、治山治水の役割を補完するための町有林造成事業、公園植栽事業などを推進してまいりますと存じます。

農業振興 土地盤整備ですが、農用地開発事業、土地改良事業、明きよ排水事業などの計画額は四百七十億円を超えておりますが、すでに完了したものは二十六事業約五十億円、進行中のものは十勝中央広域農道を始め二十四事業約四

百二十億円であり、新年度は三十六億円の事業を行います。冷害に対処する資金対策については農協と協議中であり、その結果を待って対処したいと考えております。

商工業振興 地域経済の活性化と雇用の場の確保を図るため町内二地区に工業団地を造成すべく地権者と協議中であり、町予算の執行にあたっては町内優先の姿勢を堅持し、愛町購置運動を呼び掛けてまいります。特産品開発の取組であります。職員による検討委員会を調査研究をさせており、発想としては地場産業の掘り起こしと町づくりを結びつけ、地域に活力をもたらす運動へと発展させ



土地盤整備で足腰の強い農業に

高齢者就労  
センターが発足

入を含め、若干の予算を計上いたしました。

福祉 社会保障、年金制度の改革など、福祉の根本的見直しが行われる現状であります。国にも理解を求めてまいりたいと思っております。本町独自の施策として実施している、老人医療費無料化年齢の引き下げ、老人保険法施行に伴う一部負担金の肩代わりについても、可能な限り制度を存続させる努力をまいりたいと考えております。

老人福祉 高齢者の生きがいと健康の保持を図るため、社会福祉

協議会とタイアップして高齢者就労センターを発足させ、技術や経験を生かした活動を進めます。独居老人対策として、特別養護老人ホームの協力を得て、給食サービス事業を実施する計画です。

児童福祉 幕別中央保育所の乳児保育の枠を広げ、要望にこたえてまいります。

保健予防対策 健康づくり推進協議会を発足させて事業の積極的





# ● 地域づくりと住民活動 ①

# 考えてみませんか あなたの 公区でも

## 第7回「明るいまちづくり」住民大会



みんなで身近にできるものから実行を……

第七回「明るいまちづくり」住民大会が、三月十一日に札幌福祉センターで、百五十人が参加して開かれました。この大会は「手づくりのまち推進委員会」が主催し、住民主体の大会は、今回が二回目を迎えました。(今月号は事例発表を掲載し、来月号では分科会についてお知らせします)

今年の大会は「見直そうノ笑顔あふれるまちづくりは私たちの手で」をスローガンに行われました。まず初めに「青葉町十五年の足跡」と題して、札幌青葉町公区が誕生してから今日までの姿を記録したスライドの上映があり、公区活動の展開方法が紹介されました。引き続き、南幕別地区新生活運動と札幌新北町公区資源回収運動の

事例発表がありました。昼食時には、豊稷太鼓や手品ショーのアトラクションに、参加者から感嘆の

声が上がっていました。午後からの分科会では、積極的な意見が出されていました。

## 実践の輪が広がっています 資源の再利用と新生活運動

### 事例発表

#### ▼南幕別地区新生活運動

発表者・高橋勇さん(駒島)

南幕別地区で新生活運動が始まったきっかけは、三年前に南幕別十公区長の連絡協議会ができたことです。私たちの生活にはムダも多く、それが習慣化しています。これを新生活運動で改善を図っていきましょうというのが目的です。

南幕別公区新生活運動実践要綱の主なものは次のとおり。

- 諸会合には努めて出席し、定効の十分前までに集合しましょう。
- 結婚祝賀会の会費は二千五百円以内とし、案内は結婚する両人を中心に親しい範囲で。
- 供花、供物は近親者にとどめ、特別の事情のあるかたは、供花ボスターおよび供花料のし袋を利用しましょう。
- 出産、入進学、見舞などは、三千円以内とし、お返しは全廃しましょう。お札は新生活運動八ガキで。

以上のような内容で行われており、葬儀のときには、かなり実践されています。しかし、結婚祝賀会については、出席者の人数の関

係で帯広でやることも多く、あまり実行されていません。

三月五日には、公区長、農事組合長、婦人部・青年部役員の合計九十三人の推進委員会が誕生し、今後いっそう、この運動に力を入れていきます。

#### ▼札幌新北町公区資源回収運動

発表者・国見正夫さん

札幌新北町公区の場合、資源回収運動とともに空き缶回収も行っていきます。

資源回収運動は婦人部が中心になり、昭和五十三年から取り組んでいます。回収している物品は、古新聞・古雑誌、空き瓶、鉄くずで、その実績は、五十三年には三万九百二十三円であったものが年々増え、五十八年には八万六千三百五十五円にもなりました。

空き缶回収運動が始まったきっかけは、公区清掃時に散乱している空き缶が多く、それを資源回収運動と結びつけられないか、というところからでした。回収容器は住民が自由に空き缶を入れられるようにと、ごみステーションと道路沿いに三十二カ所へ設置。これは



事例発表をする国見さん

オイル缶(十八リットル入り)を二個つないであるもので、加工費は約八千円かかりました。回収した空き缶は、鉄とアルミに分けてトラックでつぶし業者へ。昨年半年間の実績は、鉄缶二千二百五十三キ、アルミ缶七十九キで、金額は一万百九

十二円になりました。

回収運動に対する参加状況は、全体の約六〇％と低いのが課題になってきており、今後の広がりに期待しています。この運動を実践して感じたことは、小さな子供たちが手伝ってくれ、役員にとって励みになることと、住民のゴミに対する分別意識と資源意識が浸透してきていることです。

■現在、町内には九十二公区ありますが、そのうち新生活運動を実践している公区は十一、資源回収運動のほうでも三十三しかありません。今後は、公区の総会などで、このようなことを取り上げ、すべての公区が身近なことから、少しずつ実践してほしいものです。

# お母さんが先生です

## 新入学(園)児の交通安全

新入学(園)まで、あとわずかです。

いつでも、どこでもお子さんが安全に行動できるようにするためには、日常生活の中での、日ごろのお母さんの努力こそが、ものをいふのです。

子供を交通事故から守るために、知ってもらいたいこと、ぜひお子さんに教えてもらいたいことを、まとめてみました。

### 具体的な教え方を

▽実際の体験を通して教えることが大切です。通学、通園時間に合わせて、お子さんと一緒に(通学園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導するようにしましょう。



▽子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といってもあまり効きめはありません。安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。▽道路を横断する前に、必ずいつ

たん停止する習慣をつけましょう。

▽道路で遊ばないように、ふだんから徹底して注意しましょう。最近では、裏通りを通る車が多くなっています。いつそうの注意が必要ですよ。

### 帰宅後の遊びに注意

▽帰宅後、遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかりと守らせるようにしましょう。

▽子供の自転車は、年齢や体力に適したものを選び、ときどきお子さんと一緒に点検や整備をしましょう。

.....  
お子さんが、お母さんとの毎日

## 減らない交通事故

昨年1年間の統計から

昨年一年間に町内で発生した交通事故件数は、62件(57年は61件)と横ばい状態で、死者は4人(同3人)と1人増え、相変わらず多くの悲惨な事故が発生しています。

62件の事故のうち、道路路別では国道で38件(61.3%)、場所別では交差点とその付近で37件(59.7%)が発生しており、特に目だっています。類型別では、車両相互が42件(66.1%)と圧倒的に多く、次いで人対車の10件(16.1%)、車両単独の8件(12.9%)となっています。

運転車、歩行者みんながルールとマナーを守り、悲惨な交通事故を追放しようではありませんか。

## 春の交通安全運動

4月15日から6日

の楽しい語りの中で、正しい交通ルールを理解し、お母さんのお手本によって、安全な行動を身につけられるように、温かい愛情をもって指導してあげましょう。

### ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と意思の必要です。



▽子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にして徐行運転を!

▽発進、後退のときは、周囲に子供がいらないかを確認!

▽左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいらないことを十分に確かめて除行を!

# 健康相談

### 質問

七十八歳の父が脳卒中で倒れ、入院していましたが、まもなく退院する予定です。体は左半身が動かない状態で、寝返りなども看護婦さんを頼りにしています。家では、どのように寝返りをさせれば良いのでしょうか。  
(札内あかしや町 主婦)

### お答え

寝返りが一人で行えない人は、床擦れができやすく、それを防ぐためにも、二〜三時間ごとに体の向きを変えます。やり方は下図のようにしますが、このとき、マヒのあるほうを下にしないでください。また病人の体の下にバスタオルを敷き、タオルごと引っ張ると楽に体の移動ができます。  
介護者が疲れないコツは、重心を低くして寝ている人に近づくことと、手先で動かすのではなく体全体で大きな力を出して動かすことです。



① 枕をずらし、ひざをたてさせ肩と腰の下に腕を入れ上半身を手前に引く。お世話する人は、自分の腕をひじまで深く入れるのがコツです。



② 腰とひざの下に腕を入れて下半身を手前に引く。



③ 足を組ませ、肩と腰に手をかける。



④ お世話する人は反対側にまわり、肩と腰に手を掛け、手前に向ける。



# まちの ニュース



## 「かわいいね」ミニ消防車

「幼児の防火意識を高めるために」と消防署に、職員が作ったバッテリーで動くミニ消防車がお目見え。中央保育所の子供たちが試乗し「楽しい消防車だね」と大はしゃぎでした。



## ▶ナマの音楽にうっとり

途別小学校で3月2日に、PTA主催の親子コンサートが、地元の音楽家を招いて開かれました。招かれたのは田中光俊さん(ギター)、中島千枝子さん(ソプラノ)、作間令子さん(ピアノ)の3人で、子供たちと父母は生の音楽を、楽しそうに聴き入っていました。



## ▲健康法を教えます

美川に住む砂田作造さん(79)は、書物や昔の言い伝えなどで健康に良いものがあると、実践して書き留めています。現在では63巻の書物になり、この中から14則を選んで、近所や老人福祉センターの仲間に教え、とても喜ばれています。



▲お嫁さんを大事にしてね  
「農業後継新婚者の集い」が幕別温泉ホテルで開かれました。出席したのは、昨年結婚した五組十人のカップルで、お酒を酌み交わしながら、農業にかける夢などをぎっくばらんに語り合っていました。

# 幕別風土記 九

内地では米ばかりだったが、北海道へ来て入植当時は米以外のものを食べさせられ、食べられるもんでなかったですね。



国枝 幸吉さん(90歳)  
札内青葉町304

私は、岐阜県揖斐郡大野村大字麻生(現在の太野町)で明治二十七年一月二日に生まれました。帯広へは明治三十七年四月で私が十歳、父善八、母いろ、兄太一、姉タチの五人で来ました。

その後、七町五反歩の未墾地を十円で買い、初めて自分の土地になり、一生懸命開墾しましたよ。  
入植当時は、米以外のものしか食べられず、内地では米ばかりだから食べられるもんでなかったですね。もうけたら内地へ帰ろうと思っていたこともあったが、兄貴から「若いんだから辛抱しろ」と言われ、頑張ることにしました。  
そうして、上伏古では一戸や二戸分で、だめだということでも、もっと大きな所を探していた時、家内の弟が「中里に二十五戸分、百二十五町歩の荒山があるのを知っているが、買わんか」と言ってくれたんです。それで私が買ったわけですよ。

岐阜からは船に乗りました。函館からは、七時間汽車に乗り落合まで来て、そこからは狩勝峠の国境を歩かんなんというし、帯広まで十八里あるっていうですよ。歩くことはヘイチャラだから、みんな歩いて歩くことにしたんです。

百二十五町歩の内、開墾して畑を六十五町歩を作っていたから、小作人の多い時では十戸ありました。入った所は水がなく難儀したの。糠内川まで水くみに行ったこともあった。電気は昭和二十七年ごろついたが、電気くらいありがたいものはないな。

こちらに着いてから、伏古(西帯広)の小竹農場の小作を父、兄と、私が二十二歳になるまで一緒にやりました。そして、上伏古(芽室町)へ分家して、清水さんという人の小作を二年しまし

# ★ みんなの

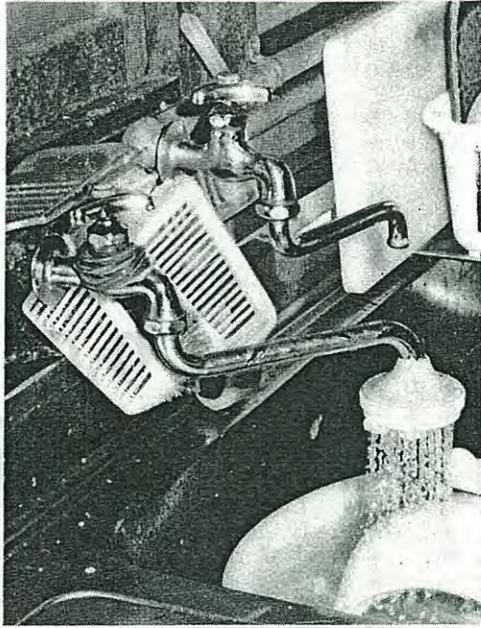


## 水道料金はどうなるの？

◆◆ (投書)  
町に対するご意見や質問などがありましたら、お寄せください。出来事や体験などでも結構です。  
投書には住所・氏名をお忘れなく。匿名ですと返答をお伝えするにも連絡のしようがなくて困ります。広報紙に掲載するときは、匿名希望とお書き添えいただければそのようにしますし、秘密は守ります。  
□あて先……本町130番地 役場内企画財政課広報広聴係

今年の一月末で  
したのでどうか、あ  
る新聞を見ていま  
したら水道会計を  
健全化するため使  
用料等審議会に三  
八%アップの基本  
料金改定を諮問し  
たと報道されてい  
ました。わたした

ち主婦にとって毎日の炊事、洗濯  
そしてふろなど水は生活にかかせ  
ないものです。  
二月十五日から消費者米価が上  
がり、四月以降は国鉄運賃、道立  
高校の授業料やハイヤー代などが、  
値上げされるようですね。しかし  
給料は上がりず家計はますます苦  
しくなっています。水道料金改定  
についても慎重にお願いしたいと



きれいで豊かな水をおとどけるために……

思います。

(旭町 主婦)

### ■ お答えします

### 適正な改正額を 審議していただいています

水道は健康で文化的な生活の基  
礎であり、生活用水ほか産業に利  
用され町民生活の向上を支える重  
要な施設です。

水道事業は、水を皆さんに届け  
る施設を建設することから始まり  
ますが、この水の確保や消毒、配  
水など事業に必要なすべての費用  
を利用されている皆さんから料金  
として頂いており、この方法が「独  
立採算制」と呼ばれております。

つまり水道事業は、公営企業と  
して運営されており水道会計の健  
全な運営は収入と支出のバランス  
がとれた経営が原則となります。  
日常生活に関係ある電気、電話  
などその経営は使用料金で賄われ  
ていることはご承知の通りです。

水はつくられる「商品」であり、こ  
の商品を確保するために多くの資  
金を投資し古くなった配水管を取  
り替えたりなどの改良工事を実施  
し、給水サービスの向上に努めてお  
ります。昭和五十七年度決算にお  
いては、水一立方メートルの料金は百七  
十七円の原価を必要としましたが、  
皆さんから負担して頂いた料金は  
百二十五円で一立方メートルにつき「五十  
二円」の赤字となっています。こ

### 過去5年間の一般会計からの補助金

(単位・千円)

年度	補助金額	繰入率
54	80,214	45.9%
55	76,814	43.4%
56	54,627	29.6%
57	54,627	28.4%
58 (予定)	38,357	21.1%

の赤字を補うため一般会計から毎  
年多額の補助金を繰り入れされて  
います。こうした事情から合理的、  
能率的運営に努め経費の節減を積  
極的に実施してまいりましたが、企  
業努力にも限度があります。した  
がって現状のまま推移すれば、水  
道事業としての使命の達成が極め  
て困難となることからやむなく水  
道料金の改定について「使用料等  
審議会」に諮問したところです。  
第一回目の審議会が一月三十日  
に開催されており、四月中  
には答申が出されるものと思いま  
す。なお前回の料金改定は五十六  
年六月であり二五%のアップでし  
た。

(水道部水道課)

今月号から「みんなの声」の  
ページを設けました。皆さん  
がつくるコーナーです。ご意  
見をお待ちしています。

### 新町民登場



村田千津子さん (27歳)  
新和 162

名古屋で行われた、十勝農  
村青年との交流会で知り合っ  
た夫と結婚のため、昨年六月  
に愛知県小牧(こまき)市から  
来ました。

小牧市は、大都市名古屋に  
近いので、住宅都市として変  
うしています。市の中央にあ  
る小牧山は、こまきながて  
いで名が知られています。

市内の信用金庫に八年勤務  
していましたが、北海道には  
あこがれていました。帯広空  
港に飛行機が着陸するとき、周  
辺が畑でしたので畑の中に空  
港があると思えばびっくりしま  
した。畑作と酪農の混合経営  
ですが、最初は牛に触るのも  
怖かったんです。今はミルカ  
ーで搾乳ができるようになり  
ました。どこのおうちへおじ  
やましても親切な対応があり、  
幕別の温かさが感じられます。  
夫の片腕となっていくよう  
頑張りたいと思います。

# 鎮守の森の秋祭りの

第48回  
路傍の神——  
開拓と信仰 ⑬  
日新神社

幕別温泉の坂を登り、まっすぐ南へ四〇ほど行くと右手に、今では珍らしい柏の大木に囲まれた神社がある。

日新神社—子供のころから近くの部落で育った私は、昔からこの秋祭りの盛大さを覚えている。

九月七日がその日である。出店が並び子供相撲、大人相撲がにぎやかに行われ、最後に宝探しが行われる。宝の番号を書いた小さな紙切れが、大木の幹や、本殿の縁の下、御神灯の中などに隠される。子供だった私は、必死でその小さな紙切れを探し回ったものである。出店でくしおでんを買って、それを食べながら三平沢を降りて帰っ



大木に囲まれた日新神社

た。十五年ほど前のことになるが、十分すぎるほど楽しい出来事であったことを、子供心にはつきり覚えている。

さらに古い話を谷友要さんが聞かせてくれました。

「おれが青年団の団長をやった時だったな、相撲もしんとならん、役者の接待もしんとならん、トウキビは、ゆでんとならん、もう、中村勝美さんと二人して、てんでこまいた。祭りが終わったら終わつたで、役者を全輪の馬車にランプを下げて、帯広まで送つたもんだ。大変だったけど、おもしろかった。あのころは、みんな楽しみにしてて、あちこちから来たからな、保導車三台も並べたら立派な舞台もできたし」

当時、神社は、信仰という名目以上に、祭りをやってみんなで楽しみ、部落の親ぼくを深めるという大切な役割を持っていたようである。

「御神体は、福島県の中村神社から分霊したものらしいが、いつから、どうしてあるのか、だれが持って来たのか、調べただけじゃわからなかったな」

日新の人たちは、御神体を大切

にまつている。伝統や格式にこだわらない北海道の人間の大らかなさをうかがうことができる。

日新神社は、現在の本殿近くにあった大木に、しめ縄を張つたものが前身とされ、大正八年四月。当時新田農場の所有地であった現在の場所に建てられた。神社建設にあたり、新田農場から七反歩の土地と五百円の寄付を受け、地元の人々五十戸からの寄付四百二十八円加え建設された。棟りようには、幕別の金比羅神社先代の宮司野瀬駒次郎があたり、建設に必要な材料は、柱、板、天井に使う五ッほの薄い板まで、すべて地元の人たちが丸太をこびきして作つた。十五坪もあるこの本殿は、当時としては、かなり大きく立派なものであったと思われ、六十六年たつた今も古い大木とともにそのままの姿を残している。

### ご寄付ありがとうございました

町へ……

▽山田英二さん(札内豊町)から  
全国省エネルギー住宅コンクール  
の入賞を記念して十万円

■町社会福祉協議会へ……

▽幕別町技能士会から二万七千  
三百十二円   ▽四季の会から一万  
三千四百二十円   ▽柴田芳雄さん  
(送別)から三万円   ▽小野寺アサ  
さん(札内泉町)から十万円   ▽須  
田英夫さん(寿町)から三万円   ▽



利用して作つた馬車のごとで従来の金輪の馬車より荷物をたくさん積めた。

※七反歩—面積の単位で約七十坪である。

※こびき—材木を大きなのでひき割つて角材、または板に製材すること。

※十五坪—面積の単位で約四十九・六平方メートルである。

(取材・横山 渡(ふるさと館スタッフ))

●取材協力   中村 勝美さん  
                  萱原 松雄さん  
                  谷友 要さん

匿名のかたから千円

■老人クラブへ……

▽宇野務さん(札内あかしや町)から二万円   ▽折笠信一さん(軍岡)から三万円   ▽大道榮喜さん(相川)から五万円   ▽森下明有さん(札内青葉町)から二万円   ▽柴田芳雄さん(送別)から三万円   ▽須田英

## ふるさと館のサケ放流!

●4月8日(日)午前11時から  
●送別川・吐月橋(あかしや処理場横)  
日曜日です。家族連れでおいでください

## 笹島登喜生さんに知事表彰

交通安全運動の功労

「実践会発足当時のことを思い出すと、胸がいっぱいになります」——笹島登喜生さん(札内中央町)に交通安全運動への功労で知事から善行賞、交通安全推進委員会から感謝状が贈られました。三月六日には、札内福祉センターで伝達式と受賞祝賀会が盛大に行われました。



祝賀会で謝辞を述べる笹島さん

夫さん(寿町)から二万円   ▽佐々木幸次さん(日新)から三万円   ▽本内一夫さん(札内中央町)から三万円   ▽大山豊子さん(古舞)から一万円  
■その他……  
▽匿名のかたから交通安全協会へ千円